

## 握手の次は？・・・その2

(56号 2016年10月11日)

前回のこのコラムで、「バスケの技術指導も大切だが、それ以外にも我々指導者は心がけることがあるのでは？」と提案をしました。

それを読んでくれた方から早速に「我がチームでは・・・」と返事がありました。とてもうれしいことです。当人の了解をとり、ここにそれを紹介します。

会長の部屋 拝読いたしました。

会長の提案に付いて、私と申しましょうか、柳井ミニバスとして心掛けておることを紹介させていただきます。

\*我がチームの第二のスローガン ”心・儀・体・技” です。お分かりでしょうか。



このスローガンは、先ず素直な心（人の話を聞く）・次に礼儀正しいマナーを身に付ける・三番目に運動に耐える身体を作ったのちに技術を習得し、プレイヤーとしてコートに送り出すと云った選手育成カリキュラムとなっております。

特に二番目の”儀”は礼儀を言っておりますが、その中で、挨拶では”いつでも、どこでも、誰にでも、何度でも”を徹底して指導しております。例えば、練習が終わった後、コート内の仲間に・指導者に、フロアーの出入り口で、体育館出入り口で、校庭で別れる際、仲間に・父兄に・指導者に、等々です。

いま申したことは、どのチームもやっておられることとは思いますが私からの提案です。会長の提案に対して、我がチームではこんなこともやっていますよと云う内容を紹介いただいたらどうでしょうか。（田中忠男）

そこでみなさんにはお願いです。「自分のチームではこんなことに心がけて指導している」ということをぜひ紹介していただけませんか。どんな小さなことでも、ひとつの具体的事例でも、チームの大方針でも結構です。

私のところにメールで送っていただき、それを私が「会長の部屋」で紹介していきます。メールアドレスは次のとおりです。みなさんの投稿をお待ちしております。

kkoba129@gmail.com